



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月1日

上場会社名 レイズネクスト株式会社
 コード番号 6379 URL <https://www.raiznext.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 善治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 福久 正毅

TEL 045-758-1950

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	17,757	33.5	859	2.8	967	5.3	563	7.3
2019年3月期第1四半期	13,298	0.6	836	45.2	918	35.5	607	44.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 561百万円 (22.7%) 2019年3月期第1四半期 726百万円 (33.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	12.19	
2019年3月期第1四半期	13.15	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	78,496	46,415	58.0	985.33
2019年3月期	80,155	47,988	58.8	1,019.39

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 45,548百万円 2019年3月期 47,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		46.00	46.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)					

2020年3月期の配当予想額につきましては、当期の業績予想の開示を行っていないことから、現時点において未定とさせていただきますが、業績予想を開示した際にお知らせいたします。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

当社は2019年7月1日をもって、新興プランテック株式会社を吸収合併存続会社、JX エンジニアリング株式会社を吸収合併消滅会社として、新たにレイズネクスト株式会社として発足しております。当期(2020年3月期)の業績見通しにつきましては、経営統合直後であり、現時点では予測が困難であるため、本日は未定としておりますが、第2四半期中を目途に、予想値の開示が可能となった時点で速やかに開示を行う予定です。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	46,310,892 株	2019年3月期	46,310,892 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	83,986 株	2019年3月期	83,911 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	46,226,956 株	2019年3月期1Q	46,227,348 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日)におけるわが国経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの、企業収益が底堅く推移するとともに設備投資も緩やかな増加傾向にあり、全体的には緩やかな回復基調で推移しました。

海外経済では、全体としては緩やかな回復基調が続きましたが、米中の通商問題、中国経済の減速など、不確実性のある中で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、石油業界では、国内の石油需要はエネルギー構造の変化や少子化、省エネ化などの進展を受けて減少傾向が続く見通しであるものの、供給面では、石油業界の統合・再編も一段落し生産設備が最適化され、需給バランスが改善しました。

石油化学業界では、中国経済の減速を背景に需要が弱含んでいるものの、国内の石油化学品の需要が引き続き堅調に推移し、エチレンプラントもフル稼働が続いています。

当社グループでは、当期(2020年3月期)も定期修理工事が引き続き堅調に推移する見込みであることや、プラント強靱化対策工事、改造・改修工事、高機能製品生産の新規プラント建設工事などの受注を最優先に取り組むとともに、直接工事費の原価低減、経費の削減などにより収益の確保に努めてまいります。

併せて、7月1日より新興プランテック株式会社とJXエンジニアリング株式会社が経営統合し、レイズネクスト株式会社として発足しており、今後、シナジー効果の発揮のために、早期の融合を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、受注高は前年同期比1.3%減の246億8百万円となり、完成工事高は前年同期比33.5%増の177億5千7百万円となりました。また、経常利益は9億6千7百万円(前年同期比5.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億6千3百万円(前年同期比7.3%減)となっております。

なお、当第1四半期連結累計期間の決算短信につきましては、統合前の新興プランテック株式会社の第1四半期の連結決算数値となっております。

また、完成工事高につきましては、新興プランテック株式会社の通常の営業形態として、第1四半期連結会計期間は仕掛工事が多いため、他の四半期連結会計期間と比較して少なくなる傾向にあります。

受注高の工事種類別内訳

(単位：百万円)

受注高		2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	前年比	増減率
エンジニアリング業	日常保全工事	5,954	5,908	△45	△0.8%
	定期修理工事	9,959	9,717	△241	△2.4%
	改造・改修工事	7,485	8,642	1,157	15.5%
	新規設備工事	1,538	338	△1,199	△78.0%
合計		24,937	24,608	△329	△1.3%

完成工事高の工事種類別内訳

(単位：百万円)

完成工事高		2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	前年比	増減率
エンジニアリング業	日常保全工事	5,383	5,559	176	3.3%
	定期修理工事	2,978	4,597	1,619	54.4%
	改造・改修工事	3,580	5,724	2,144	59.9%
	新規設備工事	1,287	1,806	519	40.4%
その他		68	68	△0	△0.9%
合計		13,298	17,757	4,459	33.5%

※その他は、不動産の賃貸、保険代理店業務などであります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、784億9千6百万円で前連結会計年度末より、16億5千9百万円減少しました。これは、未成工事支出金が62億7百万円、短期貸付金が70億1百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が93億2千4百万円、受取手形・完成工事未収入金が59億8千2百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債合計は、320億8千万円で前連結会計年度末より、8千6百万円減少しました。これは、支払手形・工事未払金が31億2千5百万円増加したものの、電子記録債務が4億7千9百万円、未払法人税等が17億4千9百万円、未成工事受入金が1億9千6百万円、賞与引当金が8億1千万円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産合計は、464億1千5百万円で前連結会計年度末より、15億7千3百万円減少しました。これは、配当金の支払い等により利益剰余金が15億6千3百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は2019年7月1日をもって、新興プランテック株式会社を吸収合併存続会社、JXエンジニアリング株式会社を吸収合併消滅会社として、新たにレイズネクスト株式会社として発足しております。

レイズネクスト株式会社は、統合前の両社の強みであった「高度な施工管理能力」と「高度なエンジニアリング技術」とを組み合わせ、高度なエンジニアリング力を有するプラントメンテナンスの国内リーディングカンパニーとして、多様化する生産設備の新設・改造需要を取り込み、事業規模の拡大を図ってまいります。

なお、当期（2020年3月期）の業績見通しにつきましては、経営統合直後であり、現時点では予測が困難であるため、本日は未定としておりますが、第2四半期中を目途に、予想値の開示が可能となった時点で速やかに開示を行う予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,954,338	7,630,067
受取手形・完成工事未収入金	38,837,826	32,854,978
電子記録債権	1,012,733	1,314,128
未成工事支出金	6,020,514	12,228,123
短期貸付金	1,219	7,003,129
その他	195,177	722,611
貸倒引当金	△13,830	△12,611
流動資産合計	63,007,979	61,740,426
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,848,153	2,853,064
土地	7,186,383	7,186,383
その他(純額)	1,034,891	1,052,402
有形固定資産合計	11,069,428	11,091,850
無形固定資産		
	271,217	268,587
投資その他の資産		
投資有価証券	4,881,362	4,789,314
長期前払費用	11,849	11,110
繰延税金資産	758,854	438,756
その他	277,608	279,033
貸倒引当金	△122,520	△122,773
投資その他の資産合計	5,807,155	5,395,441
固定資産合計	17,147,801	16,755,878
資産合計	80,155,780	78,496,305

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	12,489,440	15,615,149
電子記録債務	11,229,960	10,750,106
短期借入金	205,004	232,004
未払法人税等	2,057,373	307,686
未成工事受入金	535,705	339,416
完成工事補償引当金	120,350	60,670
賞与引当金	1,255,014	444,322
役員賞与引当金	4,000	3,440
その他	1,949,002	2,054,286
流動負債合計	29,845,851	29,807,082
固定負債		
長期借入金	53,447	43,946
繰延税金負債	1,153	1,714
役員退職慰労引当金	93,377	78,906
退職給付に係る負債	1,984,577	1,963,686
その他	188,932	185,592
固定負債合計	2,321,488	2,273,845
負債合計	32,167,339	32,080,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,754,473	2,754,473
資本剰余金	1,688,884	1,688,884
利益剰余金	41,686,932	40,123,827
自己株式	△40,216	△40,315
株主資本合計	46,090,073	44,526,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,315,059	1,248,873
為替換算調整勘定	△79,921	△62,306
退職給付に係る調整累計額	△201,857	△164,664
その他の包括利益累計額合計	1,033,280	1,021,901
非支配株主持分	865,087	866,607
純資産合計	47,988,441	46,415,377
負債純資産合計	80,155,780	78,496,305

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
完成工事高	13,298,677	17,757,749
完成工事原価	11,538,846	15,556,581
完成工事総利益	1,759,831	2,201,167
販売費及び一般管理費	923,780	1,341,638
営業利益	836,050	859,528
営業外収益		
受取利息	560	1,395
受取配当金	54,389	58,794
受取賃貸料	22,955	23,333
その他	21,520	41,099
営業外収益合計	99,426	124,622
営業外費用		
支払利息	1,126	942
賃貸費用	2,617	2,508
為替差損	8,301	9,158
その他	4,877	4,446
営業外費用合計	16,923	17,055
経常利益	918,553	967,095
特別利益		
固定資産売却益	504	11
特別利益合計	504	11
特別損失		
固定資産売却損	16	208
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	16	208
税金等調整前四半期純利益	919,041	966,897
法人税、住民税及び事業税	81,596	52,270
法人税等調整額	228,484	340,394
法人税等合計	310,081	392,664
四半期純利益	608,960	574,233
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,186	10,897
親会社株主に帰属する四半期純利益	607,774	563,336

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
当期純利益	608,960	574,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	108,620	△67,163
為替換算調整勘定	△11,145	17,614
退職給付に係る調整額	20,123	37,192
その他の包括利益合計	117,598	△12,356
包括利益	726,558	561,876
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	725,578	551,956
非支配株主に係る包括利益	980	9,919

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

当連結グループは、報告セグメントがエンジニアリング業のみであり、当連結グループの業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、「その他」は不動産の賃貸、保険代理店業務などであります。

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

当連結グループは、報告セグメントがエンジニアリング業のみであり、当連結グループの業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、「その他」は不動産の賃貸、保険代理店業務などであります。

(重要な後発事象)

当社は、JXTGホールディングス株式会社(以下、「JXTGHD」という)及びその子会社であるJXエンジニアリング株式会社(以下、「JXエンジニアリング」という)との間で、当社を吸収合併存続会社、JXエンジニアリングを吸収合併消滅会社とする吸収合併による統合に関する統合契約書を、2018年12月20日に締結し、本契約について2019年4月17日開催の当社臨時株主総会にて承認決議を受け、同年7月1日に合併し、レイズネクスト株式会社に変更しております。

1. 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：JXエンジニアリング株式会社

事業の内容：各種建設・保全工事の設計、施工、施工管理及び受託業務等

② 企業結合を行った主な理由

当社及びJXエンジニアリングの特性を融合し相互のリソースを有効活用することで、多様化する生産設備の新設・改造需要を取り込み、本経営統合後の会社における各事業の規模を拡大していくことを目的としています。

③ 企業結合日

2019年7月1日

④ 企業結合の法的形式

当社を吸収合併存続会社、JX エンジニアリングを吸収合併消滅会社とする吸収合併

⑤ 結合後企業の名称

レイズネクスト株式会社(英文名:RAIZNEXT Corporation)

2. 取得原価の算定等に関する事項

① 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	企業結合日に交付した当社の普通株式	10,196 百万円
取得原価		10,196 百万円

② 合併比率及びその算定方法並びに交付株式数

JX エンジニアリングの普通株式 1 株に対して当社の普通株式 9.2 株を割当交付しました。

本合併比率の決定にあたっては、その公正性・妥当性を期すため、当社は SMBC 日興証券株式会社(以下、「SMBC 日興証券」という)を合併比率の算定に関する第三者算定機関として選定の上、本合併に用いられる合併比率の算定を依頼しました。当社は、SMBC 日興証券による算定結果等を参考に、両社の財務状況、資産状況、将来の見通し等の要因を総合的に勘案し、合併比率について JXTGHD と慎重に交渉・協議を重ねた結果、最終的に本合併比率が妥当であるとの判断に至り、取締役会において本合併比率を決定し、合意いたしました。

交付する当社普通株式数は 7,941,072 株となりました。これは、JX エンジニアリングの 2018 年 9 月 30 日時点における普通株式の発行済株式総数(863,160 株)及び自己株式数(0 株)を前提として算出しております。また、交付する株式には、当社が保有する自己株式 83,911 株を充当し、残数については新株式の発行により対応いたしました。

③ 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 402 百万円

3. 取得原価の配分に関する事項

① 発生したのれんの金額、発生要因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

② 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。